

親しく正しく和かに

当山先々代三吉日照上人の提唱による
当山スローガンです
揮毫=大本山本興寺御開士大平日晋上人



No.53

令和5年6月1日発行



本覺山 妙壽寺 (法華宗(本門流))

〒157-0061 東京都世田谷区北烏山 5-15-1

電話 03-3308-1251 FAX.03-3308-7427

ホームページ http://myojuji.or.jp



季刊『寺楽寿』は東京都世田谷区北烏山の法華宗(本門流)

本覺山妙壽寺が発行する寺報です。

檀信徒の皆さまをはじめ、妙壽寺にご縁のある皆さまに

広くお読みいただければ幸いです。

リレーコラム No.10

師父のこと 当山職員 梅原正隆



妙壽寺昭和新本堂が本年40周年を迎えますが、先代上人梅原法順(日順)は、法類でありました瑞光寺の高村法顯(日原)上人と昭和59年5月の本堂落慶入仏慶讃大法要にご任職からお誘いを受け、随喜参拝をさせて頂きました。初めて来山したので婦人会の方々が、大変良くご接待して頂き有難く感謝したと話されたことを思い出しました。

法華宗の助教師を務める。さらに本門法華宗(所属教会) 逗子妙法精神教会を30歳で逗子町逗子に同15年4月12日に設立し布教活動を実施しました。が、新道路建設工事に関連して同26年12月20日41歳で逗子市沼間の現在地に移転し布教活動を行いました。平成11年2月20日90歳にて遷化した。



当山組寺入谷鬼子母神・真源寺では、4年ぶりに7月6～8日(木・金・土)に入谷朝顔市が開催されます

当山檀信徒の

真鍋欣之氏 世田谷区議会議員、
大槻和弘氏 相模原市議会議員
山木綾子氏 川越市議会議員

選挙に当選



真鍋氏(当山世話人)は昭和62年世田谷区議会議員初当選して、今回の当選により任期6期目を迎えました。京王線の踏切解消事業の早期実現、世田谷の商業・工業、農業の振興などを政策に掲げ、世田谷区に貢献して参りました。(写真は当選祈願に来山の真鍋氏と当住上人)

大槻氏は、相模原市議会議員当選により任期4期目を迎えました。公約「暮らしを守り、未来を創る。」の実現に向けてスタートしました。

川越市議会で活動して5期20年の山木氏は、今後も健全な市政運営を目指すとのことです。



法要のご案内

コロナウイルス感染の拡大防止のため、感染対策を十分に行い奉修いたします。

孟蘭盆会施餓鬼法要

7月16日(日)

新孟蘭盆会法要(新盆) 午前11時
孟蘭盆会法要 午後2時
動物諸霊法要: 正午

お会式・昭和新本堂落慶40周年記念法要

11月3日(祭・金)

稚児行列 午後1時 御会式・記念法要 午後2時

予告

9月13日(水) 正隆会旅行
～15日(金) 日蓮聖人佐渡御出立 & 御赦免750年団参旅行
詳細は当山までお問い合わせください。

11月12日(日) 竹灯籠能 & 落語会 詳細は次号にて掲載

猿江別院御写経会

8月24日(木) 10月5日(木) 12月14日(木)

※毎回、木曜日 13時～19時 参加費:500円

新規墓所のご案内

- 3尺×4尺=6基
- 3尺×3尺=6基
- 2尺×2尺=8基

詳細は当山までお問い合わせください。

正隆会

[SHORYU-kai] 午後2時開催

当山では、毎月第2土曜日午後2時より月例正隆会を開催しております。仏教や法華経についての勉強会や写経会、またウォーキング課外活動を行っています。檀信徒、ご友人どなたでも参加できます。例会では、毎回1時半より正隆廟墓前法要を奉修しております。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため離隔距離をとり、実施いたします。

7月8日 写経会

8月 休会

9月13日 日蓮聖人佐渡御出立 & 御赦免750年団参旅行

10月7日 勉強会「法華経へのいざない」拝読3

11月11日 勉強会「法華経へのいざない」拝読4

12月9日 勉強会「法華経へのいざない」拝読5

- 寺日記
- 2月23日 初午茶会 於高田馬場茶道会館
- 2月27日 村上博雅師WFBY(全日本仏教青年会)会長就任祝賀会 於東京プリンスホテル
- 3月6日 広尾祥雲寺先代住職通夜(翌7日葬儀)
- 3月10日 東日本大震災第十三回忌法要 於茂原鷺山寺
- 3月14日 (二社)茶道裏千家淡交会総会 於京都ホテルオークラ
- 3月16日 (公財)全日本仏教会・仏教懇話会 於キャピトル東急ホテル
- 3月16日 裏千家好日会 於東京道場 (写真②は4月19日に百歳を迎えられる裏千家千玄室大宗匠)
- 3月21日 渡部憲亮師送別会 於八幡山豊利乃新木場まつりシンポジウム 於猿江別院
- 3月26日 金沢本因寺御聖誕800年法要③
- 3月29日 巧学院川口日唱上人(光長寺第七十六世・法華宗第十二、十三代宗務院総長・西之坊第六十六世)御遷化
- 3月29日 日当住上人弔問
- 4月3日 谷中鬼子母神真源寺蓮池光洋住職「母堂蓮池栄逝去」 於当住上人弔問
- 4月5日 沼津市大本山光長寺久保木日将親下晋山式
- 4月7日 烏山仏教会花まつり(稚児行列中止) 於妙祐寺
- 4月9日 紋僧部④
- 4月11日 法華宗千鳥ヶ淵戦没者慰霊法要
- 4月12日 第104回宗教法制研究会 於赤坂見付DAYS
- 4月21日 第10回納骨堂建設委員会 裏千家淡交会地区協議会 於椿山荘



- 4月24日 烏山乗満寺15代若坊守本葬儀
- 4月26日 代々木白蓮山立正寺二世長壽院日龍上人第二十三回忌法要 御導師同寺相談役桂林寺徳永真上人 於明治記念館
- 5月2日 淡交会東京第6東支部茶会 於猿江別院
- 5月6日 猿江大祭 於猿江別院
- 5月14日 第11回納骨堂建設委員会

- 5月17日 東京リバーサイド・ロータリー25周年記念式典 於ホテルニューオータニ
- 5月21日 親鸞聖人生誕750年・開宗700年慶讃法要 於西本願寺
- 5月24・25日 第78次定時宗会 於新宿常門寺
- 5月27日 法華コモンズ大平寛龍先生講演

宗務院 DIARY

- 3/3, 3/8, 4/19, 5/12, 5/23 内局会議
- 3/3 学林卒業式・学務協 於 興隆学林
- 3/9 布教部との会合
- 3/15 第33回教学研究発表大会 於 京都キャンパス
- 4/11 奉賛会総務会・責任役員会議 賛は讃でない?
- 4/18 法華宗連絡会カレンダー会議 於 宗務院
- 4/28 興隆学林講演会 於 尼崎都ホテル
- 5/15 全日仏監査会
- 5/23 責任役員会議・議事運営委員会

俳句事始 弥生・卯月・皐月

高速の遠く動かぬおぼろ山
春未だ悲しき鐘の十三忌
異国人三条橋の春を行く
白川の水面に触れる花の枝
本山の石段に舞う花弁かな
花やかに春を装ふ化粧箱
春家族株の座席に向かい合い
みすずかる奥山に咲く山桜
友席主船花入れの夏来る

鶺鴒

須藤浩之氏

(神奈川県新聞社 代表取締役社長)
聞き手 三吉廣明上人
令和5年4月14日 於 横浜・馬車道 神奈川県新聞社

須藤家と妙壽寺

住職 今日は、以前から須藤さんとお会いするのが念願でありましたので、横浜の地まで出向かせていただきました。

私と須藤さんは、お檀家ではありませんが二従兄弟(ふたご)のご子孫として、私の父と須藤さんのお母様はご同士です。

須藤浩之氏(以下、敬称略) そうです。
住職 神奈川県新聞社代表取締役社長の就任から何年になりますか。
須藤 この6月で丸2年です。

住職 その中で、ちょっと遅ればせながら、ご就任おめでとうございます。
須藤 ありがとうございます。

住職 後ほど神奈川県新聞社さんの件はお伺いするとして、私の叔母(三吉恵子)も昨年の2月12日、88歳で逝去いたしました。お母様もお亡くなりされたのは同じ年だったんですね。
須藤 そうですね。昨年の3月28日に87歳で逝きました。

住職 では、ひよ半月後ですね。とまあ、くいとご同士で仲よくしていただいています。叔母の父親(日照上人)、つまり私の祖父が、妙壽寺が深川時代に伊東深水画伯と大変親友であった。今度はその子供同士、娘同士が大変親しくなり、伊東画伯が父親である朝丘雪路さんと私どもの叔母が昵懇でした。その芸能関係で、よく須藤さんのお母様と連れ立って、演劇や歌舞伎を観に行ったり、そういう時代があったと伺うことを伺っております。大変ありがたう思っております。

須藤 母は小さいころから「恵子ちゃん、恵子ちゃん」と慕っていたようです。あと、大学生時代、妙壽寺さんから京都のお寺を紹介していただいて、母と恵子叔母さんの二人で1週間か10日ほど、そのお寺に泊まって観光旅行したと伺っています。それが非常に良い思い出で、大名旅行とは言いませんけど、美味しいものをたくさんいただいたり、京都市内の名所を案内いただいたりと思いいに残る旅行だと言っています。

した。母と恵子さんの若い頃の写真をみると姉妹のようで、そっくりですね。

住職 まあ、いご同士ですからね。私が調布のおじ様(三吉豊久氏)で記憶に残るのは、妙壽寺は割とお弟子さんともかまして、日照上人の時代は大所帯でした。やはり住職の奥さんの実弟という立場で、お弟子さんたちは、調布のおじさんが来るというごみんな緊張する感じがしたというのを聞いています。私がおじ様を非常に意識したのは、昭和44年1月28日、私の父が急性心臓病で急逝(遷化)しましたが、亡くなって病院から戻って、そこに調布のおじ様が駆けつけていたという、「ばかやろう」と「おまえ、何でこんな早くこんなことになったんだ」と言っていました。「ばかやろう」という声は本当に今でも耳に残っています。俺が感じました。だから、おじ様にとって私の父は血を分けた甥っ子で、本当にかわいがっていたのだと思います。

私のいとこの佐々木和子さんのご主人である佐々木上人がいつもよく言っていたのは、「本当に最後の旦那だね」と。だって一週間に一回くらい床屋さんに通っていたし、もう調布のおじ様のイメージは、今考えると北村西望(昭和を代表する彫刻家の一人)の御木本幸吉翁像のよくな感じですね。

須藤 うちの祖父(豊久)が言っていたのは、やっぱり戦争前が一番人生の華で戦中・戦後は苦労した。

住職 須藤さんは横浜のごにお住まいですか。
須藤 私は生まれてからほぼ現在の住まい、保土ヶ谷区の常盤台に住んでいます。

住職 須藤さんのほうで調布のおじ様からご先祖の話をお伺いしていますか。
須藤 いや、全

然なくて。祖父は、お寺は継ぎたくなかったと誰か言っていましたけどね。
住職 それはもう周知の話でしょうか。

横浜は「3日住めば、浜っ子」という地域性

住職 須藤さんは、大学卒業後はすぐに神奈川県新聞社に入社されたのですか。
須藤 ええ、そうです。

住職 会社ではよく何々畑といいますが、どういった部署におられたのですか。
須藤 私は営業がほとんどです。新聞社の社長として、営業出身は、私以外はいないんじゃないですかね。みんな新聞記者出身の人ばかりですから、営業というものは具体的にどういった仕事をされるのですか。

須藤 広告の営業がメインでした。ほかにイベントの運営とか。今は休止中ですが、毎年8月に横浜港で行っていた「神奈川県新聞火火大会」の主催や、就職イベントの企画、印刷物の営業もやりました。

住職 その中で、これは決して悪く言っていないわけではないですが、いろいろな集まりのなかで、横浜出身の方は、「神奈川県ではなくて横浜です」と、確固たる感じで横浜の出身と言いますね。

須藤 千葉県出身のマッコ・テラックスさんが怒っていましたね。横浜の人間はプライドばかり高い。でも、しゅせん横浜は、開港から1859年ですからまだ164年です。だから、京都や東京に比べて歴史が浅い。あと、日本中から多くの人が今も集まってくるので、よく言うのが「3日住めば浜っ子」だ。だから、いろいろな人を排斥しない受け入れる文化があります。私どもの社員は、いろいろな雇用形態で300人ちょっとながりますが、多分、江戸時代から横浜に住んでいる家はほとんどいないと思います。

住職 本当に素朴な漁村みたいな感じだったんですかね。最初は。
須藤 開港前の横浜は東京湾にある平均的な漁村だったんですよ。ただ、先ほどの、横浜の人は神奈川県と言わないというのには理由があった。横浜は政令指定都市なので、子供の頃から住所を必ず「横浜市」から書くんです。だから、横浜市は神奈川県にあると気づいたのは小学校に上がってからです。(笑)

IT時代の新聞報道のあり方

住職 神奈川県新聞の起源はいつ頃ですか。
須藤 今年で創業133年です。多くの地方紙もそのくらいに創業していますが、大体が当時の自由民権運動に発端されて政治的な意味の新聞が多かったんですよ。わが社は、横浜港の貿易は開港してしばらくは外国人商人が仕切っていて、日本人商人は弱かった。そこで、横浜商人が一致団結して自主独立することが必要と訴えて創業しました。だから経済的要素の強い新聞でした。

住職 ああ、そうですか。
須藤 だから、創刊して間もないころの新聞というのは、横浜市内は関東大震災や横浜大空襲

で被災したので、出てくるのは当時の生糸の産地である福島県や岐阜県などの旧農家からです。当時の我社は生糸などの輸出品の相場情報などを主に報道する新聞だったんですよ。想像するに、生糸が高いときは、多分産地から生糸を送って、安いときは生糸を産地で保管しておいたとか、そういうこともあったんじゃないですかね。

住職 情報ネットワークですね。
須藤 私が入社したころは、ご同様に印刷工場がありました。今は県内の綾瀬市にあります。移設してもう35年になります。県内は横浜開港時、多くの貿易商人が集まる日本の貿易の中心地でしたが、今は風景がだいぶ変わりました。新聞社も、IT技術の進歩、特にスマートフォンやタブレットの普及で迎えています。我々を含め紙の新聞はほとんど部数が減ってきていて、一生懸命に紙も守ろうとしています。スマフォなどで読める電子版にも力を入れています。但し、多くの方が、ネットの世界ではニュースはただで見られるという感覚ですね。だから、お金を払ってまで読める電子版の普及に今苦労しています。

住職 一般の人たちが今全部インターネットの力で何か物を編集したり、それから、ニュースも一般の人がどんどんアップする。これからその辺がどのように変わっていくのか。今後、新聞社としてどのように社会の役に立つ立ち位置のようなものを考えていますか。
須藤 先ほど言った通り、多くの方が個人的にニュースを配信したり、動画を配信したりする時代になりました。それはいいことだと思えますが、事実と違う情報も多く見られるようになってきました。

住職 多いですね。
須藤 偏った意見になりがちじゃないですか。何が中立なのか、正しいのかというのは、やはり我々新聞社が事実を客観的に取材して報道していかなければと思っています。また、我々はこれまで、読者の皆さんへ一方的に自分たちの価値観に基づき報道する姿勢が見られました。

しかし、今は双方の時代だと思っています。地域の皆さんが何を求めて、何を知らたいのかというのを、IT技術の進歩と共にだんだんとリアルタイムで分かるようになってきました。それに基づいて皆さんが知りたいニュース、私もは神奈川県新聞ですから、神奈川県内のニュースを届けていく事が必要だと考えています。取材記者も今まで以上に読者が何を知らたいのかを十分に知った上で取材活動をしてほしいと呼びかけています。

住職 東京で昔お世話になったご婦人が遠くに住んでいますが、その彼女が、ごもかく神奈川県新聞は面白いといっています。もちろん私も東京にいます。確かに三大新聞でも東京版のニュースがありますが、地域に根差しているという意味では何か薄まっている感じがするんですね、私からすると。そういう点で、多分彼女は本当に神奈川県で、自分がどこに出かけようとか、どこで何したいのかというごの糧になるので、神奈川県新聞は面白いな。それは意識されている面はありますか。

須藤 この間の日曜日は統一地方選挙があって、そういうごのやりのニュースサイト「カナロコ」のアクセスが上がったり紙の新聞も売れたりします。先ほど言いましたように、我々が思っている以上に他紙が報道出来ない地元の詳細なニュースへの関心の高さを改めて認識しました。その他、県内の政治情報、事件、事故もアクセスを集めますし、この街にこういう建物があったとか、こういう開発が進むという経済的な記事もアクセスを集めます。

意外と街のちよつといひ話というのを読まれます。例えば、高校生が道に倒れていたおじちゃんを同級生や地域の方と連携して介抱して命が助かったとか、そんな心温まる話というのが結構読まれるように思っています。

住職 なるほど、そうですね。
須藤 この県内では再開発が進んでいますが、いろいろな街の再開発のようなものは結構みんな知りたいんだな。あと、教育関係ですが、東京もそうですが、子供の数が減っているのが、学校の合併の話なんか結構関心が高いです。入試制度が変わる話もアクセスが増えますね。

住職 須藤さんはこの神奈川県新聞の代表として、地方紙の会というのにはあるのですか。
須藤 日本新聞協会と共同通信社の理事会が一月に一回、東京であります。そこには各社の社長さんが集まり様々な情報交換をしています。

住職 でも、いわゆる「フランチャイズ」といって、アメリカだとスポーツで地方愛というのがよくありますね。球団の横浜ベイスターズがありますが、その辺りはどうですか。
須藤 今、横浜ベイスターズの運営会社はDENAという会社です。DENAが運営会社になって、ファンが多くなり横浜スタジアムにたくさん人が集まるようになりました。DENAさんの戦略に女性ファンを増やすという施策があって、女性の入場者にフリカルのユニホームを配ったり、スタジアム内の女性トイレの数を増やしたりして成果が表れています。女性が増えれば、つられて男性も増えるという事です(笑)。我々も見習うべきかと思っています。

住職 サッカーチームも神奈川県で何チームありますか。
須藤 横浜Fマリノス、川崎フロンターレ、横浜FCと湘南ベルマーレなど、県内にはリーグのチームが6チームあります。女性のプロチーム「ソニスタ」もあります。

住職 そんなにあるんですか。そういうごに

も御社のほうでいろいろな関わりを持って、報道面にも影響がありますね。
須藤 今年は今のところベイスターズが好調です。このまま優勝してもらえれば、我々の業績にもつながると思っています(笑)。

新聞報道と宗教について

住職 最後に、報道のお立場でいて、宗教について思われるところはありますか。
須藤 宗教について思うところは、人と人が直接に会い話をすることの大切さでしょうか。先ほどIT時代が云々とありましたが、そこに「口ナ禍や働き方改革が加わりました。リモートワークなどで人と人が対面しなくても進んできています。もちろん、リゾート地など好きな場所での勤務、家族と過ごす時間が増えるなど利点も数多くあります。

我々も「デジタルシフト」を各部署で取り組んでいます。でも一方で、果たして人と人が対面することが少なくなるのが良いのか、疑問に思っています。一番の例が、リモート飲み会ってあったじゃないですか。

住職 はい。
須藤 あれ、全然盛り上がらないですね。あれは、私だけが盛り上がらないのかと思ったり、若い人たちもあんなもの嫌だ。「口ナ禍が収まってくると夜の街に賑わいが戻ってきましたね。やっぱり人と対面する大切さというのを改めて知ったのかなという感じがしますね。スマートフォンやタブレットで人と人がつながっているように、かえって現代人の孤独というものが浮き彫りになっている様な気がします。自殺する人の数は減らないですね。

住職 そうですね。
須藤 だから、逆にこういう時代だからこそ宗教が見直されるべきかと思っています。人は生きていく限り悩みは尽きません。今こそ、宗教者の皆さんには多くの人と対面して、その悩みを聞いていただく機会を増やして欲しいと思います。我々一般人は、ふだんの悩みや将来の不安などを直接に宗教者へ聞いてもらいたいという思い、何か心が洗われるというか、軽くなってまた頑張っていくというか、そういう気持ちになれたいと思います。その意味でも宗教者の方は、街に出て、人と会う機会を増やしてほしいと思います。我々新聞社の人間も街に出て多くの方と出会うことが必要と感じています。私の生活圏にある寺院でも、座禅会とか写経会というのがあります。私も時間ができたら是非とも参加したいと考えています。

住職 五、六年前に深川に猿江別院を再興しました。若い人こそいろいろな悩みがあるのだから、インターネットは便利ですが、なかなかそれでは人の悩みは解決しないだろうと思っています。
住職 それでは須藤さん、貴重なお時間をいただきましてありがとうございます。
須藤 こちらこそありがとうございます。(一)



Profile

須藤 浩之

すどう ひろゆき
1961(昭和36)年12月22日 横浜市生まれ
1985年 早稲田大学第一文学部卒業

1985年	神奈川県新聞社入社
1999年	東京支社広告部課長
2000年	広告局広告部副部長
2002年	広告局広告部副部長
2005年	営業局広告部部長
2006年	東京支社広告部部長
2008年	営業局次長
2009年	営業局次長兼出版部長
2011年	営業局次長兼営業推進室長
2012年	クロスメディア営業局長
2013年	クロスメディア営業局長兼東京支社長
2014年	東京支社長
2018年	神奈川県新聞総合サービス代表取締役社長
2019年	取締役総務局長
2020年	常務取締役クロスメディア営業局長
2021年	代表取締役社長

兼職: 株式会社神奈川県新聞総合サービス 取締役
株式会社エリアドライブ 取締役
株式会社かなしんオフセット 代表取締役社長

